◎理学研究科　R3 前期対面講義感染防止(学生向)

対面講義参加の心得

★講義期間中の毎日の日常

〇体調と行動の記録を推奨（◎経過観察表（理学学生）を利用）する

・朝・晩の体温計測、体調の変化、聴講した講義（講義名、講義室）など

〇感染防止行動の徹底

・マスクを常時着用

・手指の消毒の励行

・感染リスクのある場所へできるだけ行かない（人の多い繁華街、密閉・3密の娯楽施設・飲食店など）

〇食事について

・食事時の感染防止の徹底（1名ないし少人数で食事を採る、アクリル板遮蔽の店利用など）

・昼食は下宿が近い場合は自宅において弁当などで済ます

・生協食堂などの昼食時の利用は、可能な限り混雑時を避け、短時間で食事を採る

★講義参加時

〇体調不良時の対処

・対面講義参加前に検温・体調確認し、発熱や諸症状を呈した場合は、出席せず担当教員に欠席・連絡する

・講義の出欠、成績評価のための課題提出を確認する

〇対面講義参加の一般的注意

・感染防止のため常に講義参加者を把握する必要があることから、履修登録確定後は、登録していない講義には参加しないこと

・CocoA による自動連絡ツールの使用を強く推奨する

（定期的に接触の有無を確認し、感染した場合は登録すること）

・席間隔をあけて着席すること

・講義中は常にマスク着用し外さないこと

・私語は慎むこと

★京都大学活動制限レベル変更、研究科内感染者数増加への対応

・活動制限レベルや感染拡大懸念の場合など、オンライン講義への急激な移行に注意すること

・理学と全学、あるいは他学部は必ずしも同じ形態にならない場合がある

・理学や全学の講義（講義、実験、実習など）によっても実施形態が異なる場合がある

・オンライン講義の受講準備（PC やタブレット）をしておくこと

・オンライン視聴環境（自宅・ルーター・構内視聴室）を確認しておくこと

★新型コロナウイルス感染疑いとなった場合　http://statphys.scphys.kyoto-u.ac.jp/covid

・「◎経過観察表（理学学生）」を利用して「直接の連絡先」に連絡こと

・「Covid-19 感染時の対処」に従って行動すること

新型コロナウイルス感染時プロトコル

R3 講義関係まとめ
学生用

発熱・体調不良時の欠席連絡と課題受領のプロトコル

	学生	担当教員
登校前	発熱・体調不良 登校せず自宅待機	
登校後	発熱・体調不良 自宅に帰宅して待機	
欠席の連絡	PandA を通じて体調不良のための欠席・オンライン参加（ハイブリッドの場合）の連絡	欠席者の記録
講義代替方法の指示と実施	講義映像視聴や与えられた課題を行い、期限までに提出する	用意した課題や記録した講義映像の閲覧を指示
体調不良者報告		2名以上の体調不良者が出た場合は Google Form で危機管理に連絡

※合わせて別途「新型コロナウイルス感染が疑われる場合の要請」を参照して必ず指示に従うこと